

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位：千円)

科目		科目	
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	314,147	流動負債	101,037
現金及び預金	197,359	買掛金	237
貯蔵品	34,537	未払金	50,617
前渡金	34,865	未払費用	7,052
前払費用	4,776	未払法人税等	290
未収消費税等	41,664	前受金	41,599
その他	944	預り金	1,240
固定資産	720	固定負債	130,000
投資その他の資産	720	転換型新株予約権付社債	130,000
差入保証金	720		
		負債合計	231,037
		(純資産の部)	
		株主資本	83,830
		資本金	19,700
		資本剰余金	711,800
		資本準備金	711,800
		利益剰余金	△ 647,669
		その他利益剰余金	△ 647,669
		繰越利益剰余金	△ 647,669
		純資産合計	83,830
資産合計	314,868	負債・純資産合計	314,868

当期純損失：

△ 477,732 千円

個別注記表

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準および評価方法

貯蔵品…………… 先入先出法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産…………… 定率法(ただし、建物については定額法)

—主な耐用年数—

建物…………… 3年

工具器具備品…………… 4年

無形固定資産…………… 定額法

—主な耐用年数—

特許権…………… 8年

ソフトウェア…………… 3年

(3) 収益および費用の計上基準

顧客との契約につき、下記の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する

ステップ2：契約における履行義務を識別する

ステップ3：取引価格を算定する

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する

ステップ5：履行義務を充足した時点で(または充足するに依りて)収益を認識する

(4) 繰延資産の処理方法

株式交付費…………… 支出時に全額費用として処理しております。

社債発行費…………… 支出時に全額費用として処理しております。